

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ: 次回発信日は7月14日月報(予定)

発行: 一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《～牛乳類は今年度初めて前年を上回る～一方でコロナ感染者増加の懸念も～》

・6/27週の牛乳類の家庭内消費について、前週に引き続き販売個数が大きく増加し、全品目が前年を上回る結果となった。40℃を超え高温となった地域や関東では25日から9日連続で猛暑日を記録するなど全国的に厳しい暑さが続き、消費を後押ししたことが要因と考えられる。牛乳については、2019年(コロナ禍前)同期比107.5%とコロナ禍前を大きく上回る販売個数となった。
 ・ヨーグルト類については、前週よりも販売個数は減少したものの、ドリンクタイプは前年を上回り堅調に推移している。
 ・低調であった家庭内需要が気温の上昇によって増加する状況となったが、本日時点で前週のような気象予報は見られないことから、次週(7/4週)の販売についてはやや落ち着いた推移となることが想定される。
 ・一方、全都道府県でコロナ感染者数が増加傾向となっており、流行「第7波」の懸念が強まっている。牛乳乳製品需要への影響は不透明であるが、動向を十分注視するとともに情勢変化による需給へのリスクを可能な限り最小化するため、引き続き業界一丸となって家庭内需要の底上げに努めることが重要となる。

【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI+】

(1) 直近動向(表①参照)

・直近(6/27週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳: 同102.2%、成分調整牛乳: 同102.4%、加工乳: 同104.4%、乳飲料: 同102.1%。

牛乳類トータルでは同102.2%

※参考: 2020年度比は、牛乳: 98.1%、成分調整牛乳: 97.8%、加工乳: 95.6%、乳飲料: 89.9%(牛乳類トータル: 96.8%)

※参考: 2019年度比(コロナ禍前)の牛乳販売個数は107.5%。

・販売単価は、牛乳: 189.7円、成分調整牛乳: 174.1円、加工乳: 190.5円、乳飲料: 149.8円。

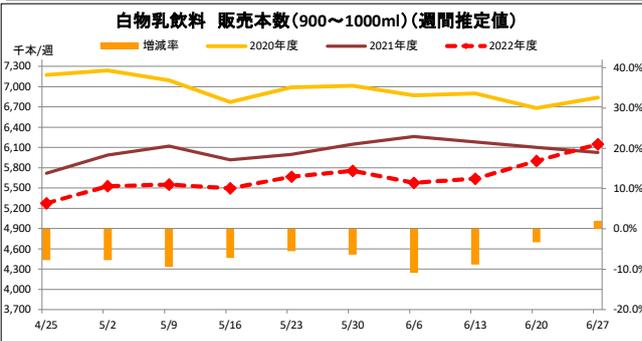
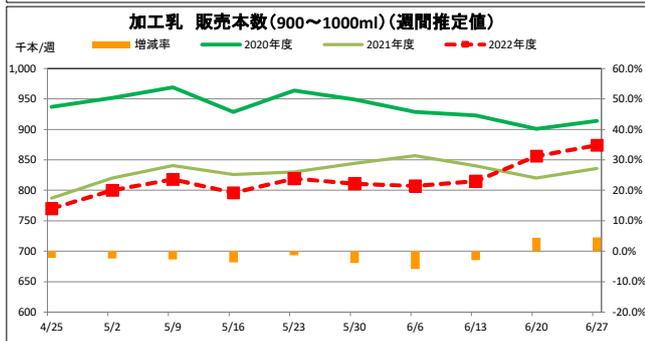
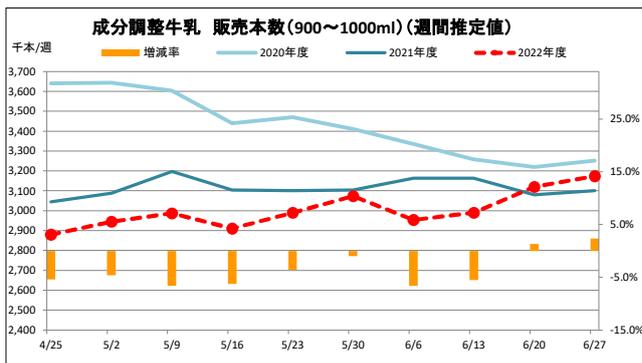
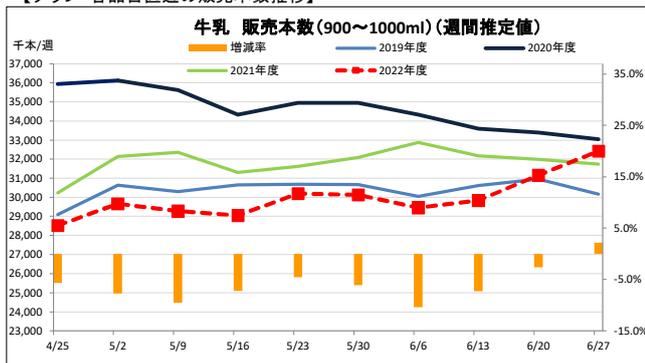
※出典 株式会社インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表①】 直近の牛乳類の販売動向 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位: 千個、円)

品目	区分	5.9-	5.16-	5.23-	5.30-	6.6-	6.13-	6.20-	6.27-
		販売個数	38,641	38,248	39,667	39,766	38,789	39,278	41,033
トータル	販売個数前年比	90.9	92.9	95.5	94.3	89.9	92.7	97.7	102.2
	販売単価	182.6	182.7	182.8	183.0	182.9	182.9	182.8	182.8
	販売個数	29,285	29,046	30,192	30,127	29,451	29,835	31,157	32,421
牛乳	販売個数前年比	90.5	92.8	95.5	93.9	89.6	92.7	97.4	102.2
	販売単価	189.7	189.6	189.7	190.0	190.0	189.9	189.8	189.7
	販売個数	2,987	2,911	2,990	3,073	2,954	2,990	3,120	3,174
成分調整牛乳	販売個数前年比	93.4	93.7	96.4	99.0	93.4	94.5	101.3	102.4
	販売単価	173.3	174.0	174.1	173.4	173.8	173.6	174.1	174.1
	販売個数	818	796	819	811	807	815	856	874
加工乳	販売個数前年比	97.2	96.4	98.7	96.1	94.1	97.0	104.4	104.4
	販売単価	189.1	189.5	190.5	191.0	189.2	189.7	188.3	190.5
	販売個数	5,551	5,495	5,666	5,755	5,578	5,638	5,900	6,149
乳飲料	販売個数前年比	90.7	92.9	94.5	93.6	89.1	91.2	96.7	102.1
	販売単価	149.4	149.6	150.0	149.9	149.6	149.8	149.7	149.8

【グラフ】 各品目直近の販売本数推移



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(6/27週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)ドリンクは前年を上回る水準、個食、大容量は前年を下回っている。全品目ともに前週よりも販売個数は減少した。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	5.9-	5.16-	5.23-	5.30-	6.6-	6.13-	6.20-	6.27-
ドリンクタイプ	↓	↘	↘	↘	↘	↘	→	→
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘



:前年比90%未満



:前年比105%以上110%未満



:前年比90%以上100%未満



:前年比110%以上120%未満



:前年比100%以上105%未満



:前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。